

日本劇作家協会 2024年度(令和6年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー
 - ①第30回劇作家協会新人戯曲賞
 - 6月3日～7月1日 作品公募
 - 7月～11月 一次審査、二次審査
 - 11月下旬 最終審査会(非公開)、受賞作発表
 - ※戯曲集の出版は行わず、最終候補作を協会 Web サイトで期間限定で公開
 - 12月下旬 授賞式(オンライン開催)
 - ②戯曲セミナー
 - ・2.5次元脚本コース(於 座・高円寺):6月～9月 全10回
 - ・対面コース(於 座・高円寺):10月～3月 全20回 →オンライン聴講コースも併設
 - ③長編戯曲改稿講座(芸文振助成事業)
 - 7月～10月にオンライン講座を行い、その後、リーディング発表会(日程未定)を開催予定(関西支部担当)
 - ④出張戯曲講座(芸文振助成事業)
 - 7月に金沢市、8月に高知市で開催予定
 - ⑤公開講座(芸文振助成事業)
 - 12月1日(於 座・高円寺)
 - ハラスメント対策をテーマにしたフォーラムシアター(演劇で問題を共有して討論する手法)を予定
2. 普及、ワークショップ、シンポジウム
 - ①ドラマリーディングのワークショップと発表会(芸文振助成事業)
 - ◎東京
 - 1)改稿サポートする輪。:6月、7月、10月、12月、2月にリーディングのワークショップを開催(於 座・高円寺)
 - 2)ドラマリーディング発表会(リーディングフェスタ):11月30日(於 座・高円寺)
 - ◎大阪
 - 1)月いちリーディング:6月、10月にリーディングのワークショップを開催(於 ACT cafe)
 - 2)ドラマリーディング発表会(関西スペシャル 劇作バトル!):1月26日(於 ドーンセンター)
 - ◎九州
 - 1)月いちリーディング:9月(佐賀県)、2月(宮崎県)にリーディングのワークショップを開催
 - ◎東北
 - 1)月いちリーディング:11月(盛岡市)にリーディングのワークショップを開催
3. 出版
 - ①戯曲英訳出版(芸文振委託事業)
 - 現代日本戯曲を英訳出版して海外に紹介する(戯曲集の第10巻を2月に刊行)
 - ②戯曲オンデマンド出版の販売と調査、検討を継続して行う
 - ③会報の発行:従来型の会報『ト書き』を発行する
4. 調査、資料収集、アーカイブ
 - ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続
 - ②戯曲デジタルアーカイブの運営を継続
 - ③戯曲デジタルアーカイブ掲載作品の追加、ならびに、システム新機能追加事業を実施予定(EPAD 委託事業)
5. 協力、パートナーシップ
 - ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続
 - ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
 - ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)への協力を継続
6. 国際交流
 - ①各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
 - ②日韓演劇交流センターへの参加を継続
7. 高校演劇
 - ①大会審査員講評ガイドライン作成(研究)
 - ②外部指導員の指導等、劇団や劇作家協会全体との連携のガイドライン作成(研究)
 - ③震災高校演劇アーカイブ継続
8. 著作権・上演料
 - ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
 - ②著作権に関する講習会やシンポジウムなどを予定
 - ③公演規模に応じた最低上演料の検討を行い、その提言を公的機関などに働きかける
9. ハラスメント
 - ①「ハラスメント防止ガイドライン」「ハラスメント防止講習」に基づき対応する
 - ②ハラスメント防止講習を講師向け・役員向け・会員向けに実施する
10. 支部
 - ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施
11. その他
 - ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続